

各感染症対策主管課長
各医師会長 殿
定点観測医療機関長

福岡県医師会
会長 蓮澤 浩明
(公印省略)

福岡県結核・感染症発生動向調査解析委員会 週報

週報 令和7年—第23週 (R7. 6. 2~R7. 6. 8)

定点	病名	定点報告数 (○: 警報レベル, □: 注意レベル)						1定点当たり	
		18週	19週	20週	21週	22週	23週	福岡県	全国
		4/28~	5/5~	5/12~	5/19~	5/26~	6/2~	23週 6/2~	
ARI	急性呼吸器感染症	5296	5212	6297	5861	6072	6307	51.70	60.24
	インフルエンザ	92	121	164	123	93	60	0.49	0.37
	新型コロナ感染症	90	95	85	73	83	86	0.70	0.92
小児科	RSウイルス感染症	55	13	32	22	13	18	0.26	0.25
	咽頭結核熱	39	32	68	58	85	81	1.16	0.72
	A群溶レン菌咽頭炎	196	205	322	296	285	298	4.26	3.26
	感染性胃腸炎	615	661	706	698	619	654	9.34	6.47
	水痘	25	36	40	29	31	20	0.29	0.47
	手足口病	12	4	8	17	21	10	0.14	0.19
	伝染性紅斑	72	86	○191	○182	○159	○231	○3.30	2.28
	突発性発しん	40	36	46	46	35	39	0.56	0.34
	ヘルパンギーナ	1	2	8	15	67	108	1.54	0.19
	流行性耳下腺炎	12	5	9	7	11	5	0.07	0.10
	川崎病 (MCLS)	14	8	7	9	10	8	0.04	
	マイコプラズマ肺炎	10	6	12	13	15	14	0.12	
	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0.00	
	無菌性髄膜炎	0	1	0	0	0	0	0.00	
	急性脳炎	1	0	0	0	3	0	0.00	
眼科	急性出血性結核膜炎	0	1	0	0	1	0	0.00	0.04
	流行性角結核膜炎	7	5	10	6	5	14	0.54	0.91

月報 令和7年—4月 (R7.4.1~R7.4.30) (STD定点数37)

病名	定点報告数	前月比	主な増加地区等	1定点当たりの患者数	
				福岡県	全国
性器クラミジア感染症	83	63%	福岡35、北九州27	2.24	2.39
性器ヘルペス	50	91%	福岡34、北九州10	1.35	0.90
尖圭コンジローマ	14	64%	福岡8、筑豊3	0.38	0.54
淋菌感染症	18	51%	筑豊5、筑後5	0.49	0.63

■ 総評

▽ 2025年第23週: R7.6/2-6/8は伝染性紅斑が増加、福岡県は第20週から警報レベル、ヘルパンギーナも連続増加しているが手足口病はまだ少ない。インフルエンザは減少傾向で定点当たり0.49、キットではA型3人、B型32人とB型が大部分、新型コロナは黄い状態が続く。感染性胃腸炎ではノロもロタも報告が続く。麻しんが全国的に多発し、毎週報告がある。百日咳の報告が多い。病原体定点医療機関では伝染性紅斑・ヘルパンギーナ・手足口病の検体提出をお願いします。

■ ARI (R7.15週より内科定点数78-52 ※ARI定点は内科定点と小児科定点によって構成)

- ※ 急性呼吸器感染症: 5週間前から5296、5212、6297、5861、6072、6307と推移。
- ※ インフルエンザ: 定点当たり0.49(前週0.76; 20歳以上11.7%)、キットではA型3人、B型32人とB型が大部分、全国定点当たり0.37(前週0.44)。
- ※ 新型コロナ感染症: 20歳以上72.1%、定点当たり0.70(前週0.68)、全国定点当たり0.92(前週0.84)。

■ 小児科 (R7.15週より小児科定点数120→70)

- ※ RSウイルス感染症：報告は少ない(4歳以上1人)。
- ※ A群溶レン菌咽頭炎：発疹合併：1歳女、5歳男、10歳男。
- ※ 感染性胃腸炎：3歳以下42.8%。ノロウイルスもロタウイルスも報告が続くが減少傾向。
 - ・カンピロバクター：7歳女2人、9歳男、女、10-14歳男、12歳男、14歳男、女。
 - ・サルモネラ：09群：2歳男。群未詳：4歳男、17歳女。
 - ・黄色ブドウ球菌：11か月男。
 - ・ロタウイルス：1歳男、女3人、2歳男、女、4歳男、5歳男4人、女2人、6歳男3人、女2人、7歳男2人、女3人、8歳男2人、9歳男、女、10-14歳男。
 - ・アデノウイルス：7か月男、11か月女、1歳女。
 - ・ノロウイルス：7か月女、8か月男、女、11か月男、1歳女、2歳女、4歳女、5歳男。
- ※ 水痘：15歳以上2人。ワクチン済例：3歳女(R4. 10/19にVZ332；軽症)、5歳男(R2. 9/26とR3. 6/7にロット不明；軽症)、5歳男(R3. 8/24にVZ307、R4. 5/23にVZ321；軽症)、8歳男(H29. 9/17にVZ209、H30. 3/18にVZ217；軽症)、8歳女(H30. 1/12とH30. 11/16にロット不明；軽症)、9歳男(H28. 10/5にVZ181、H29. 4/7にVZ197；軽症)、14歳女(H27. 3/20にVZ135；中等症)。
- ※ 伝染性紅斑：多発が続く、第20週から警報レベル。今後の動向に注意。
- ※ ヘルパンギーナ：急激増加、今後の動向に注意。
- ※ 流行性耳下腺炎：15歳以上0人。ワクチン済例：1. 6歳女(R6. 11/28にG958；中等症)、2歳男(R6. 9/26にG958；軽症)。
- ※ マイコプラズマ肺炎：15歳以上1人。報告数少ない。抗原検査：9歳男。遺伝子検査：4歳男2人、7歳男2人、11歳男(百日咳も)、11歳女。抗体検査：6歳女(PA：320)、6歳女(640)、13歳女(160)、40歳女(40→160)。
- ※ その他の疾患：ヒトメタニューモ：前週1人、今週6人で増加。ヘルペス歯肉口内炎：1歳男。

■ 眼科 (眼科定点数26)

- ※ 流行性角結膜炎：キット陽性：報告なし。定点外：8歳女。

■ 基幹 (基幹定点数15)

- ※ マイコプラズマ肺炎：4歳男、12歳男。
- ※ 無菌性髄膜炎：66歳男(Varicella zoster virus)。
- ※ 感染性胃腸炎(ロタウイルス)：3歳女、9歳男。

■ ウイルス分離

- ※ 急性呼吸器感染症(ARI)：5/20の10か月女からヒトラインフルエンザウイルス3型・ライノ/エンテロウイルス[福岡市保健環境研究所]。

■ 全数報告

- ※ 腸管出血性大腸菌：全国今週48人、全国累計684人、福岡県今週7人、福岡県累計59人。
- ※ エムポックス：全国第14週1人(東京都)、全国累計1人(東京)。
- ※ 重症熱性血小板減少症候群：全国今週10人、全国累計68人、福岡県第21週に1人、福岡県累計1人。
- ※ デング熱：全国今週4人、全国累計62人、福岡県今週0人、福岡県累計4人。
- ※ 劇症型溶レン菌感染症：全国累計713人、福岡県累計39人。
- ※ 梅毒：全国累計6010人、福岡県累計333人。
- ※ 百日咳：全国累計28553人、福岡県累計1379人。2か月男、8歳女、10歳男はLAMP陽性。
- ※ 風しん：全国第23週に0人、全国累計6人(秋田1、栃木1、東京1、富山1、静岡1、京都1)。
- ※ 麻疹：全国第23週に3人(北海道、神奈川県)、全国累計135人(北海道～大分；福岡3、大分2)。

※ 福岡県医師会ホームページの感染症情報欄にも掲載されていますので下記URL及びQRコードよりご参照下さい。

URL：https://www.fukuoka.med.or.jp/doctors/kansenshou/_11717.html

ホーム>医師の皆様>感染症・予防接種>感染症発生動向調査

青木知信

